

中学校

あったか言葉

○目標となる資質・能力

思いやり・他者理解、仲間づくり・絆づくりに資する力、道徳性

○指導のねらい

自分が勇気づけられた言葉を語りあうことによって、自らの成長を振り返りながら、他者に支えられ、みんなで支え合っているという実感によって、思いやりの心を育む

○準備するもの

ワークシート×生徒数、葉型の紙×生徒数、葉のない木を描いた模造紙1枚

○教育課程、実施時期

特別活動、学期末や学年末及び行事の振り返りなど

○留意点など

ゆったりとした静かな雰囲気の中で行えるように留意すること

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 10分	1 好きな言葉を理由とともに発表する	・勇気づけられた言葉に限らず、自由に発表させる
	あったか言葉で教室をあったかくしよう	
展開 30分	2 自分がどんな言葉によって励まされ、勇気づけられたかを振り返る 3 ワークシートに記入する 4 班内で発表する 5 「あったか言葉の木」を作成する	・ワークシートにあるような具体的な相手や状況を想起させると考えやすい ・1つでなくてもよいことを指示 ・「自分にとって」でよいことを指示 ・具体的な状況や理由などと共に発表させ、必ず拍手するように指導 ・葉型の紙に1人1つずつ自分が体験したあったか言葉を書いて、色を塗る
まとめ 10分	6 本時の学習を振り返り、感想を書く	・何名かにあったか言葉とそのエピソードを発表させてもよい ・作成したあったか言葉の木を掲示することを伝える

参考

○「好きな言葉を理由とともに発表する」について

ここでは人から励まされた言葉に限らず、四字熟語や漢字一文字など、自分が好きな言葉を自由に発表させる。その際、理由を尋ねることによって「言葉には人を励ましたり勇気づけたりする不思議な力があるよね」とまとめ、次の展開に繋げていく。

○「自分がどんな言葉によって励まされ、勇気づけられたかを振り返る」について

過去を振り返って自分が励まされたり、勇気づけられたりした言葉を考えさせる。ワークシートにあるように、「友だち」「家族」「先生」などの相手や、「入学直後の不安なとき」「落ち込んだ時」などの状況を具体的に想起させると出てきやすい。学年末の振り返りで行う場合には「このクラス（学年）の仲間から」と相手を限定して書かせてもよい。同様に「今回の体育大会を振り返って」と題して、特定の行事の振り返りに利用することもできる。

○「ワークシートに記入する」について

自分にとってあったかいと感じた言葉でよく、名言や格言を求めているのではないことを指示しておく。ただし、その時の状況や、その言葉を言われた時、思い出した時の気持ちも必ず記入させる。しっかりと想起させるために、ゆったりとした静かな雰囲気をつくることを心がけること。

○「班内で発表する」について

ワークシートに記入したあったか言葉と、その時の状況や理由を班員に説明させる。一人ひとりのあったか言葉は、その人にとってとても大切な言葉であって、誰からも否定されたり非難されたりするものではないことを予め伝えておき、1人の発表が終わるごとに、教えてくれた感謝の意を込めて必ず拍手などをさせるとよい。

○「『あったか言葉の木』を作成する」について

葉型の紙に自分のあったか言葉を書かせ、「それを言われた時の気持ちを色や模様で表現してみよう」と言い自由に色を塗らせるとよい。完成した葉を、模造紙の木に自分で貼らせて「あったか言葉の木」をみんなで作成する。作成した「あったか言葉の木」は教室に掲示するなどして活用する。学年末や行事の振り返りなどの場合は「〇組の木」「友情の木」などにするとよい。また、これはあったか言葉をみんなで共有する活動の一例であり、例えば、全員のあったか言葉を学級通信で発信したり、あったか言葉を書いたカードを自分の机に貼らせたり、そのカードをクラス内で交換しあったりするなど、クラスの状況や教師の裁量によって様々な工夫をして利用すればよい。

資料

参考文献 「心の健康教育プログラム」

あったか言葉

年 組 番 名前：

1 人からかけられた言葉で、自分の心が元気になったり、励まされたりした言葉を書いてみよう。

- ①家族、先生、友達、先輩などからかけられた言葉
- ②体育大会や文化祭、部活動、習い事などでかけられた言葉
- ③困った時に勇気づけられた言葉
- ④本や新聞、テレビなどで励まされた言葉 など

2 授業の感想を書きましょう